

# ピストンポンプ取扱説明書

**YPP-1・YPP-1-A  
YPP-1SA・YPP-1SA-A**

## 目次

- エアツールを  
安全に使用していただくための警告・注意 ————— 1~2
- ピストンポンプを  
安全に使用していただくための警告・注意 ————— 3~9



- このたびはヨコタ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- ご使用の前に必ず本書をよくお読みになり、内容を十分にご理解の上、正しくご使用ください。
- この取扱説明書は必ず保管してください。

## エアツールを安全に使用していただくための警告・注意

**⚠ 警告**：下記項目内容を十分理解の上、本書をお読みください。

■安全上の注意事項は、次の見出しを掲げております。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**⚠ 警告**…誤った取扱をしたときに、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される場合。

**⚠ 注意**…誤った取扱をしたときに、使用者が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される場合。

※「**⚠ 注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

■本書はご使用される方が、いつでも利用できる場所に大切に保管し、繰り返しお読みください。

■本書および製品に貼付けされている警告ラベルを紛失または汚損された場合は、弊社もしくはご購入の販売店を通じ、速やかにお取寄せの上、正しく保管または貼付けしてください。

■当製品を譲渡もしくは貸出される場合は、本書を必ず添付してください。

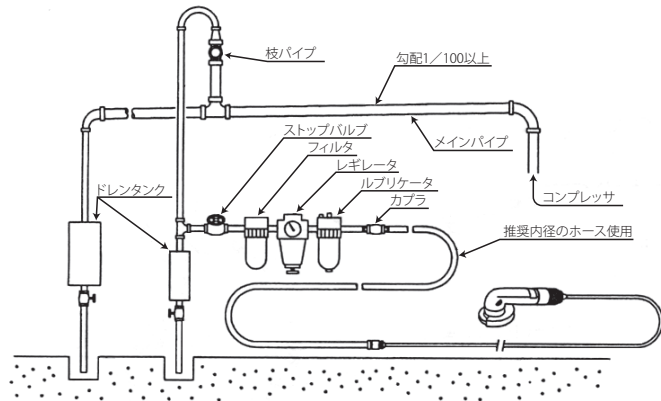
お買い上げの製品または本書の内容について、ご質問がおありの場合は弊社もしくはお買い上げの販売店までお問い合わせください。

**⚠ 警告** ■ご使用前に必ず本書をよくお読みになり、内容を十分にご理解の上、正しくご使用ください。

**⚠ 注意** ■エアツールを使用する前に準備頂くもの

●適正な配管設備をご準備ください。

配管略図



配管は清浄で乾燥した圧縮空気を送るよう実施しなければなりませんので、いかにコンプレッサーを合理的に設置しても配管に注意を怠りますと圧力降下、ドレンなどの悪影響により、出力の低下、および工具の早期破損を生ずる原因となりますので十分にご注意ください。

圧力はコンプレッサーの近くと遠くとでは必然的に差ができるものですが、特に空気の流れの速い場合はかなりの値に達することがあります。これは一般に途中損失、またはパイピングロスといわれるもので空気流とパイプ、またはホースの内壁との摩擦による損失や外部への洩れなどが原因です。

その圧力降下は管が大きくなれば減り、管の長さには損失は比例するもので、上記配管略図のようにレシーバーから各々のパイプを経て、フィルタ、レギュレータ、ルブリケータによってドレン、および塵埃などの除去、適正圧力の確保、自動給油を行い、種々の悪影響を防ぎます。

## ピストンポンプを安全に使用していただくための警告・注意

本機は、第4種石油類、水（飲料水除く）、などの液体の移送を目的とした、圧縮空機を動力として作動する往復動型モーターにピストンポンプを直結した往復動ポンプです。

**⚠ 警告** ■指定以外の用途、使用は重大な事故につながるおそれがあります。ご使用前に必ず本書をよくお読みになり、内容を十分にご理解の上、正しくご使用ください。

**⚠ 警告** ●本機は、防爆仕様ではございません。第1種石油類など揮発性、引火性が高い液体の移送は行わないでください。

●飲料用にはご使用になれません。

●適正な空気圧力で使用してください。

指定空気圧力以上での使用は製品の破損・事故の原因となりますので、圧力計、減圧弁等を設置して、必ず適正な空気圧力（無負荷時の配管動圧）で使用してください。空気圧力の設定方法は、ツールから先端工具が取り外されている状態で、ツールを無負荷で作動させ、配管上のレギュレータで設定してください。<0.3～0.5MPa>

●清浄で乾燥した圧縮空気を供給してください。

塵埃、ドレン等は故障および事故の原因となりますので、清浄で乾燥した圧縮空気を供給するようにしてください。  
※エアドライヤ、エアフィルタ、ルブリケータ、レギュレータ等の設置をおすすめします。

●エアコンプレッサ以外の動力源を使用しないでください。

エアツールはエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス（酸素・アセチレンガス・プロパンガス等）を使用すると爆発の危険があります。

● **ドレンの除去**

作業開始前にドレンタンク内のドレンの除去を行ってください。使用前にはエアホースの空吹きを行ってエアホース内のドレンを吹き出してから、エアホースを接続してください。

● **適正なエアホースを使用してください。**

エアホースは耐油性で外面が耐摩耗性を有し、規定内径で作業空気圧力に適合したものを使用してください。また、老朽化したものや極端に長いもの（推奨長さ：5m以内）は使用しないでください。

● **適正なエアホースや配管を使用してください。**

エアホースは耐油性で外面が耐摩耗性を有し、規定内径（内径9.5φ）で作業空気圧力に適合したものを使用してください。また、老朽化したものや極端に長いもの（推奨長さ：5m以内）は使用しないでください。

● **エアホースや配管等、取付け具は確実に取り付けてください。**

取付け不備によりエアホースがはずれた場合、エアの噴射によりエアホースが飛び回り、非常に危険ですので、エアホース取付け具はエアホースおよびエアツールに確実に取付けてください。

● **エアホースの接続時はゴミ等の混入に注意してください。**

エアホースを本機に接続する際は、必ずゴミやドレンがなくなるまでエアブローを行ってください。またエアホース接続部のゴミ等は必ず取除いてから接続してください。

● **吐出側ホースは確実に装着してください。**

装着されないと飛散した液体が目に入り非常に危険です。

● **本体の固定は確実に行ってください。**

取り付けられないと液体が流出する恐れがあります。

- **ドラムジョイントは確実にドラム缶に取り付けてください。**  
取り付けられないと液体が流出する恐れがあります。
- **液体吸い込み口から異物や固形物が混入しないようにしてください。**  
異物が混入しますと動作不良や故障の原因になります。

## **⚠ 警告**

### **■作業環境について**

- **作業場は十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。**  
暗い作業場や散らかった作業場は事故の恐れがあります。照明等に留意し、整理整頓を心がけてください。
- **爆発の危険のあるところでは使用しないでください。**  
エアツールは引火や爆発の恐れがある場所では、危険ですので絶対に使用しないでください。
- **関係者以外は近づけないでください。**  
作業場所には作業関係者以外は近づけないでください。特に子供は危険です。
- **騒音に注意してください。**  
騒音に関しては法令および各都道府県の条例で定める規制があります。周囲に迷惑をかけないように規制値以下で使用されることが必要です。必要に応じ遮音壁等を設けてください。  
騒音が作業者の位置にて85dB（A）を越える場合は、必ず耳栓を使用してください。また85dB（A）以下の場合についても、耳栓を使用されることをおすすめします。

## **⚠ 警告**

### **■作業保護具について**

- **作業保護具を使用してください。**  
人体保護のため、作業に応じヘルメット、保護めがね、耳栓、防塵マスク、安全靴等の作業保護具を使用してください。
- **適した服装で作業してください。**  
ダブダブの服やネックレス等の装身具は着用せず、作業に

適した服装で作業してください。また、長い髪の毛がエアツールにかからないように、帽子等で覆ってください。

## **⚠ 警告**

### **■ピストンポンプを使用時の注意事項**

#### **●可動部に手や布きれ等を近づけないでください。**

使用中は非常に危険ですので、可動部に手や布きれ等を絶対に近づけないでください。

本機の稼動部（ピストンロッド）

#### **●電気に対し接触させないでください。**

エアツールは電気との接触に対し絶縁されていませんので、電気に対し接触させないように注意して使用してください。

#### **●不意な始動を避けてください。**

エアホースを接続する場合は、エアコックが停止位置になっているかを確認してください。またエアツールを持ち運びする場合は、始動スイッチに手をかけないでください。

#### **●指定された用途以外に使用しないでください。**

#### **●改造は絶対にしないでください。**

改造を行っての使用は事故の原因になりますので、絶対に行わないでください。また、純正部品以外の部品を組み込むことも行わないでください。

#### **●部品を取外さないでください。**

取付けてある部品やねじ類を取外しての使用は、事故の原因になりますので、絶対に行わないでください。

#### **●エアツールに異常を感じた場合は直ちに使用を中止してください。**

使用中に異常を感じた場合は直ちに使用を中止して、点検・修理を依頼してください。

●**危険が予測される場合はエアの供給を止め、エアホースをエアツールからはずしてください。**

使用しない、または保守点検を行う場合や、その他危険が予測される場合は、必ずエアの供給を止め、エアホースをエアツールからはずしてください。なお、自動的に圧縮空気を遮断する保護装置（カップリング等）を使用していない限り、エアホースを取外す場合は、まず元コックを締め、エアホースへの圧縮空気の供給を止め、次に本機のバルブを開き、エアホース内の残存空気を排出してから行ってください。

●**給油は大切です。**

給油の効果として、エアモーター部、及びギヤ等の早期磨耗を防ぎ、錆びの発生を抑制します。給油を怠りますと、故障の原因となるばかりでなく、事故の恐れがありますので、エアモーター部に1日2～3回 TKa等油圧ユニット搭載モデルにはコスモロックドリル46を他のツールにはコスモタービン32（タービン油 ISO VG32）を数滴給気口より補給してください。自動滴下機能を有するルブリケーターの設置をおすすめします。

※上記推奨オイルは弊社で取り扱いできます。

●**空運転は行なわないでください。**

●**作業終了時は、吸気エアと吐出側バルブを必ず遮断してください。**

●**排出口や吐出側ホースを人体に向けないでください。**

●**水（飲料用水除く）の移送は、YPP-1SAをご使用ください。**

●**化学薬品のご使用は販売店窓口にご相談ください。**



## **⚠ 注意** ■保守・点検・修理について

### 〈日常点検〉

#### ご使用前

- ・ネジ部にゆるみや部品の損傷等がないか確認してください。
- ・ホースや配管が確実に装着されていることを確認してください。
- ・空気圧力が適正か確認してください。(0.3~0.5MPa)
- ・ドレンの除去を行ってください。

#### ご使用时

- ・本機から液漏れしていないか確認してください。
- ・本機から異音または、普段とは異なる高い振動が発生していないか確認してください。
- ・動作しない場合や、その他異常を感じたら直ちに使用を中止し、点検・修理を行ってください。

#### ご使用后

- ・給油を行なってください(タービン油 ISO VG32)
- ・使用後は、水などでフラッシングを行ってください。

### 〈定期点検〉

- ・ご使用后6ヶ月経過、もしくは稼働100時間を目処に、チューンアップキット（O-リング、パッキン類）の交換を推奨します。

### 〈長期保管する場合〉

- ・ご使用后、水などでフラッシングを行ってください。また、エアガン等で本機に付着した水分を除去してください。
- ・布や新聞紙等で本機を覆い、保管してください。
- ・直射日光の当たらない、風通しの良い場所で保管してください。
- ・再度ご使用される前に、チューンアップキット（O-リング、パッキン類）の交換を推奨します。

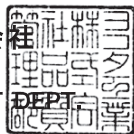
●修理は弊社または弊社認定（指定）のサービス工場にご依頼ください。

修理は弊社または弊社認定（指定）のサービス工場に、お買い求めの販売店または代理店等を通じ、ご依頼ください。お客様の勝手な処置により、事故や不具合が生じた場合は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

# 検査合格証

INSPECTION CERTIFICATE

ヨコタ工業株式会社  
品質管理部  
QUALITY MANAGEMENT



## ヨコタ工業株式会社

- |        |           |  |                       |
|--------|-----------|--|-----------------------|
| 本社・工場  | 〒578-0947 | 東大阪市西岩田3-5-55<br>TEL 06-6788-1381            | FAX 06-6781-4519      |
| 仙台下張所  | 〒981-3103 | 宮城県仙台市泉区山の寺1丁目10-15<br>TEL 0285-31-0002 (小山) | FAX 0285-29-0702 (小山) |
| 小山営業所  | 〒323-0819 | 栃木県小山市大字横倉新田312-5<br>TEL 0285-31-0002        | FAX 0285-29-0702      |
| 東京営業所  | 〒143-0016 | 東京都大田区大森北3-4-3<br>TEL 03-3762-6411           | FAX 03-3762-6413      |
| 名古屋営業所 | 〒468-0065 | 名古屋市天白区中砂町512<br>TEL 052-832-4866            | FAX 052-834-6749      |
| 大阪営業所  | 〒550-0023 | 大阪市西区千代崎1-2-10<br>TEL 06-6581-1721           | FAX 06-6581-1725      |
| 広島営業所  | 〒732-0804 | 広島市南区西蟹屋4-2-8<br>TEL 082-263-1473            | FAX 082-262-3894      |
| 小倉営業所  | 〒803-0827 | 北九州市小倉北区緑ヶ丘2-12-36-105<br>TEL 093-592-4812   | FAX 093-592-6682      |